

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25221301	研究期間	平成25年度～平成29年度
研究課題名	希少化合物の供給および有用化合物の構造改変を指向した生体機能分子の合成研究	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	福山 透 (名古屋大学・大学院創薬科学研究科・特任教授)

【平成28年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は5つの生体機能分子を標的とした効率的な合成法の確立が目標であり、そのうち2化合物（カイニン酸、オキシコドン）については全合成が達成されている。また、残りの3化合物（アクロメリン酸、エクチナサイジン、テトロトキシン）に関しても、計画の見直しや課題への対応が必要であったものの、ほぼ計画通りに進展しており、研究期間内における目標達成が見込まれる。

【平成30年度 検証結果】

検証結果	当初目標に対し、概ね期待どおりの成果があったが、一部十分ではなかった。
A-	本研究では、4化合物については全合成を達成しており、一部は類縁化合物へ展開を行っている。
	他方、エクチナサイジン743の全合成は達成されていないものの、これまでも課題を解決し全合成を実現していることから、更に研究を進め、エクチナサイジン743の全合成を早期に達成することを期待する。